

自由気ままな4年間…

生涯教育専攻4回生 松岡 夏美

授業も終わり、学校行事に参加することもなくなり、バイトも終わり、送別会や卒業旅行や飲み会などに時間を費やし、もうすぐ終わるのか…と少し悲しみにひたったり、もうすぐ始まるのか…と不安を抱えたりしながら、あと1週間で実家に帰るが、さて何をしようか考えていたころ、石飛先生より「折り入ってお願いがある」とこの文章を書く役を頂きました。私でいいのか…とは考えたけれども、生涯教育の先生をはじめ、4回生の仲間や私を支え続けてきてくれたみなさんにメッセージが書けるいい機会を頂いたと思い、この役を引き受けさせてもらうことにしました。

私が天理大学を受けたのは、「ただ天理に来たかった」というのが正直な思いでした。生涯教育を志望したのは、親やすでに生涯教育にいる先輩に勧められたからです。正直なところ、自分の意志というのはほとんどありませんでした。そんな中始まった大学生活はありがたい環境の中でとても自由気ままに過ごした4年間だったと今つくづく思います。

1回生では、たくさんの人に出会い先輩方にいっぱいお世話になって可愛がってもらった一年だったと思います。人見知りで人との関わりが不器用でヘタなのに、人と関わるのが好き！と思い込んでいたのか分からないけど、人がとにかく好きで人に出会うのが楽しくて、人間関係学科の学科会、海外布教を目指すSATOMというサークル、ボランティアサークルのマンモス、信仰団体のよふぼく会、自治会行事・・・様々な活動に参加しまくり、他の学科、学年にも友達が増え、携帯のアドレスが一気に増えたのには自分でびっくりし、この年から携帯に赤外線がついことには感謝感謝でした(笑)

田舎から出てきた私には夜外を出歩き友達と朝まで一緒にいることは新鮮で、朝早いのに寝なくても平気で、ただただ楽しみまくっていたように思います。実家は電灯も少ないしコンビニもなかったのも、夜が明るいのは衝撃的でした！また一人で電車に乗ったのも初めてで、乗換えなどが苦手で、実は今でもドキドキが止まりません(泣笑)

たくさんの人に出会って関わるということは、たくさんの価値観に出会うことでもあり、いろいろな考え方があって、ものごとは様々な角度から見る事が出来、コレ！と決まった答えがあるわけではないことも実感しました。人の意見も大切だし、自分なりの答えが出てからも常に自分の中で考え続け、学び続けて深めていけることがあることにも気づくことが出来ました。本当に刺激がいっぱいいっぱい！

また、生涯教育の恒例行事の生涯合宿では先輩とはもちろん、同級生と仲良くなれて嬉しくて、先輩が誕生日にはみんなで集まっていると聞くと私たちもした一い！と思い、誰かの誕生日ごとに研究室に集まろうとしましたが、4年間通してまともに出来たときがあ

っただろうか？（笑）でも、研究室で一緒にご飯食べたり、授業一緒に受けたりできたことは今になって思うけど、私にとってはすごく嬉しくて楽しい時間だったなと思います。授業も毎日ほぼ1限から4限まで詰まっていたけど、学校に行って友達に会えるのが嬉しくて、毎日楽しみでした。

そうこうしている内に大学1年目は過ぎ去ってしまいました……。楽しかった！早かった！

2回生になりました。初めてバイトを始めました。そして私は人生で初めて海外に布教に行きました。行くと決めてからは目が回るほど忙しく、しんどくて楽しい毎日が始まりました。

毎朝4時起床で、自分で決めた日課をこなし、8時から話し合いに参加。9時からの授業に行ってお昼も布教に行くための準備。夕方はバイト。終わって話し合い、文化交流などの準備……。寝るのはだいたい1時過ぎ。こんな生活を約4ヶ月続け、私はオーストラリアに行きました。しかし、完全な準備不足で私はオーストラリアに行ったことを後悔…。そんな海外布教でしたが反省会で気づきました！「行かせてもらえて良かった」と。反省は後悔ではなく、次につなげるためのもの。日本に帰ってきて私ができることがたくさんあることにも気づけたと思う。学生って守られてて甘くて大人になりきれなくて、ふわふわしてて人としてもまだまだ未熟だけど、だからこそやってみよう！と思ったことは何でも挑戦できるし、したらいいし、いっぱい失敗して、いっぱい壁にぶち当たってへこんで、文句も愚痴もいっぱい言っていたと思った。

だけど、大切なのはそこから自分は何を学ぶのか？何かひとつでもいいし、他の人と比べなくてもいい。何かひとつも気づけることがあるか？そこから疑問をもてるか？そこからどう動くのか？その先が大切なんじゃないかな、と私は思いました。悩んで、いっぱい考えた分、そのときに答えが出なくても、意識することで必ず早かれ遅かれ、自分なりの答えが見つかるし、今しんどいことも、ぜったいあとで「良かった」って思えるときが来ると思います。

また、生涯のほうでは、恒例のソフトボール大会を企画したり、学科会では運動会の旗を作る長をさせてもらったり、なにかと慌ただしい毎日だったと思います。様々な役をいただくなかで、責任はもちろんついてきます。だけど、忙しいなかで忘れちゃいけないのは「心」。「忙しい」という漢字は「心」が「亡くなる」と書きます。忙しいのは大変だけど、充実していて自分が楽しかったらいい、と自分だけのことしか見えなくなるときが誰でもあると思う。そんな時でも、周りを見て心を配れるような人になりたいと思いながら過ごしていました。

私が大好きでもうすでにご退職された井戸先生は授業でいつも『えんぴつのような人間になれ！』と教えてくれたのを覚えています。「えんぴつはまっすぐな芯がちゃんと真ん

中であってその回りには気（木）がある。その気を周りの人に配って、気配りが出来る。そして、自分を削りながら人の役に立っていく。」

それを聞いて私はえんぴつのような人になりたいと思いました。この大学生活で少しでも近づけたかは分かりませんが、これからもがんばりたいと思っています。

そうしている間に、2回生も「あつ」という間に終わっていきました。。

3回生になりました。授業が減るかと思えばそうはいかず、1・2回生のときと違って教職で専攻の授業が取れなかったのが、3回生でみっちり入れていきました。授業が違うので生涯のみんなと関わる機会が減り寂しかったです。でも、年賀状が来たり学校内で会ったりしたらと一ても嬉しかったよー！（笑）

3回生ではそれぞれが各サークルや会の幹部を勤め始めます。生涯の友達もそれぞれで役職をもらい今まで以上に忙しい毎日を送っている人もいました。私も信仰団体のよふぼく会で副会長をさせてもらうことになり、こんなに人に「喜んでもらいたい！」「楽しんでもらいたい！」と思ったことはあっただろうか…というくらい人に尽くしたいと思った1年でした。

1・2回生の受け入れてもらう立場とは違って、3回生では迎える立場になるので、大好きで憧れだった先輩はいなくて不安ばかりでした。

でも、入ってきてくれた1回生がかわいくてしょうがなくなったのは言うまでもありません（笑）また、2回生が盛り上げてくれたり忙しい中、会室に顔を出してくれるのが心強くて嬉しかったです。みんなの前ではいつも笑顔を絶やさないようにしていた私ですが、悔し涙も嬉し涙も含め4年間で一番泣いたのは3回生だったと思います。

人と関わるのは不器用で粗相も多くて、たくさんの仲間に迷惑をかけまくっていた私は、人の良いところはたくさん見つけれるのに、自分に関しては欠点ばかり見つけてしまい自己嫌悪に陥っていました。でも、人のいいところが見つけれるのが嬉しくて、楽しかったのです。だから私は、副会長として上に立つ人間かもしれないけど、気持ちは下から人を支えられる、人のいいところを生かされる人間になろう！と思いました。このとき忘れかけていた「えんぴつ人間」を思い出して楽しめたように思います。

3回生では、生涯合宿の企画もありました。よふぼく会一色だった私はみんなにまかせっきりで本当に申し訳なかったと反省しています。この年、私は人に頼ることも学ばせてもらった気がします。生涯の必修授業でみんなに会えるのが嬉しくていっぱい相談にも乗ってもらったり、励ましてもらったり、元気をいっぱいもらいました。頼りすぎたかもしれませんが、あの時は本当にありがとう。

私はこの1年を通して一生の目標を見つけました！それは「優しい人になる」というものです。優しさとは底が無いくらい深くて、いろんな優しさがあることを知りました。だから本当の意味で本当に優しい人が私の目標です。

そしてもうひとつ気づいたのは、私はやっぱり人が好き！ということです。

4回生。逃げ続けてきた卒業論文。一人になる時間が増え、寂しさに耐えながら、今思うと研究室にこもることもできたし、また生涯の友達と関わることが増え、なにげに楽しんでいました！正直卒論にはたくさん考えさせてもらえて、やって良かったなと本当に思います。天理教の家に生まれ育った私は、天理教について書きましたが、自分と向き合う論文になったように思います。岡田先生はお忙しいのにたくさんアドバイスをくれ論文作成に力を貸してくださいました。また、天理教を信仰していない友達の意見や先生の意見はとても新鮮で、様々なことに気づかせてくれて、教えてくれたように思います。すごく嬉しかったです。と同時に自分と向き合ったことで、私は大学生活での反省を見つけました。そこでできた目標は「当たり前だといわれることをしっかり出来る人間になる」というものです。

この4年間、私は本当に自由気ままにやりたいことをやって、遅刻ばかり繰り返し、授業中は寝るし、迷惑かけまくりました。みなさん本当にごめんなさい。。

また関わることが出来たみんなと楽しみながら泣いて泣いて笑って笑いあうことが出来ました。そして自分に足りないことをいっぱい見つけ、目標をたくさん立て続けた4年間でもありました。

それから、天理大学に行かせてもらえて、生涯教育に入れて本当に良かった！と心から思っています。「人は出会いでいかようにも変わる」と聞いたことがあります。そのとおり、天理大学のアットホームな環境のおかげで、人見知りの私もいっぱい動くことができ、たくさんの人に会うことが出来、固定概念が強かった私も少しは広い視野で物事を見れるようになったのだと思います。また、生涯教育だからこそ、人と関わるのが苦手な私も人と関わることの大切さや楽しさをまなび、人と関わりたいと思うきっかけをあたえてくれました。これが社会教育として生かされるようにがんばりたいと思います。

こうして、自由気ままに過ごさせてもらったのも、見守ってくれて怒ってくれて、慰めてくれて、支えてくれ、なにより理解してくれたお父さんお母さん、兄弟姉妹、先生、先輩後輩、友達、仲間、そして、常に学びを与えてくれた出来事や出会いのおかげです。

ごめんなさいを言わなきゃいけないこともいっぱいあるけど、それ以上に「ありがとう」をいっぱいいっぱいーっばい皆さんに届けたいです。

本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。私は幸せ者です。